



報道機関各位
プレスリリース

2018年4月24日
株式会社阪急阪神ホテルズ
ホテル阪急インターナショナル

いとくきゅう えもん
宇治茶・伊藤久右衛門×ホテル阪急インターナショナル 初の共同企画
《期間限定》老舗茶屋の抹茶を上品な創作スイーツに
2018年5月1日(火)より ホテル阪急インターナショナルにて

ホテル阪急インターナショナル(大阪市北区茶屋町 19-19 総支配人:菅野 伸一)では、2018年5月1日(火)よりレストラン3店舗にて、京都・宇治の老舗茶屋「伊藤久右衛門」と「ホテル阪急インターナショナル」の共同企画「MATCHA COLLECTION(抹茶コレクション)」を開催いたします。



創業百八十余年の歴史を持つ「伊藤久右衛門」。お茶の品質を追求し続けながらも、お客様に宇治茶の新しい価値を広く発信しているその姿勢に当ホテルが共感。ホテルを訪れる女性に向けて常に新しい商品を開発するシェフ・パティシエが、宇治茶の魅力を最大限に引き出した特別スイーツをご用意いたします。

シェフ・パティシエが培ってきた経験と磨かれた感性で織りなす、ここにしかない目にも鮮やかなひと品をお楽しみください。

- 期 間 2018年5月1日(火)～6月30日(土)
- 名 称 「MATCHA COLLECTION(抹茶コレクション)」
- 店舗・内容
- レストラン&スカイバンケット「ソラメンテ」(25階)
特別デザート「Jouets ジュエ」 5,100円(※ランチコース内の一品として提供)
 - ティーラウンジ「バルテール」(2階)
「抹茶のアフタヌーンティーセット」 3,000円
 - テイクアウトコーナー(1階)
「雅・Miyabi-」 600円
「彩・Aya-」「粹・Iki-」 550円

◆京都・宇治 伊藤久右衛門について

江戸後期・天保三年、初代伊藤常右衛門・瀧蔵が田原村 名村にて茶業に携わりはじめ、その後百八十余年にわたり茶づくりを継承。創業から貫いてきたお茶の品質を追求する姿勢と時代に合わせて新しい感覚を取り入れることを大事に宇治茶ならではの美しい色・豊かな香り・味わいと、宇治の街の魅力を発信中。

URL : <https://www.itohkyuemon.co.jp/>



この件についてのお問い合わせは

ホテル阪急インターナショナル広報担当：向 真有香・筒井 愛美・蘆田 恵美
〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19 TEL : 06-6377-3608 FAX : 06-6377-5715
e-mail : m-mukai@hankyu-hanshin-hotels.com 記載の画像データをご用意しております

各商品の詳細は、次頁にございます

<商品概要>

■ レストラン&スカイバンケット「ソラメンテ」(25階)

<お問い合わせ>TEL : 06-6377-3389(直通)

<提供時間>11:00~14:00(L.O.)

<料 金>1名様 5,100円

<メニュー>特別デザート「**Jouets ジュエ**」

スクエアで仕立てられたモダンな世界を濃厚な抹茶ムース、まろやかなマスカルポーネ、ブラックココアで創作。

※ランチコース内のひと品として提供。



Jouets ジュエ

■ ティーラウンジ「パルテール」(2階)

<お問い合わせ>TEL : 06-6377-3631(直通)

<提供時間>10:30~19:00(L.O.)

<料 金>1名様 3,000円

<メニュー>「**抹茶のアフタヌーンティーセット**」

丁寧に挽いた抹茶をケーキやクリームに織り交ぜ香り高い小菓みに。抹茶のまろやかな旨味とコクが口いっぱい広がります。



抹茶のアフタヌーンティーセット

■ テイクアウトコーナー (1階)

<お問い合わせ>TEL : 06-6377-3628(直通)

<販売時間>11:00~21:00

<内容・料金>「**雅・Miyabi-**」 600円

濃厚な抹茶をジョコンド、ガナッシュ、バタークリームに合わせ、美しい層にした抹茶オペラ。奥深い風味は抜群。

「**彩・Aya-**」 550円

深みある抹茶とパッションフルーツ、ホワイトチョコの融合。なめらかな舌触りのクリームを、サクサクしたクッキー入り生地に挟んだ、新感覚のシュークリーム。

「**粹・Iki-**」 550円

マスカルポーネ入りのムースの中には、しっとりとした抹茶のスポンジと茹であずきを忍ばせて。ほろ苦い抹茶クリームと黒豆を添えて、和の雰囲気醸し出します。



雅・Miyabi-



彩・Aya-

※画像はすべてイメージ。
※表記の料金はすべて消費税・サービス料込(テイクアウトコーナーは消費税のみ)。

◆ ホテル阪急インターナショナルについて

16世紀のイタリア・トスカーナ地方の貴族の邸宅をイメージしたホテル。オールスイート感覚の贅を尽くした客室は全室が26階以上に位置し、ヨーロッパからの貴重な調度品が優雅な空間を彩ります。世界共通で人々の心を和ませしてくれる「花」をメインテーマに、潤いの時間とやすらぎのシーンを演出。館内のいたるところに花を配し、細やかなホスピタリティで、真のリラクゼーションへと導きます。

以上